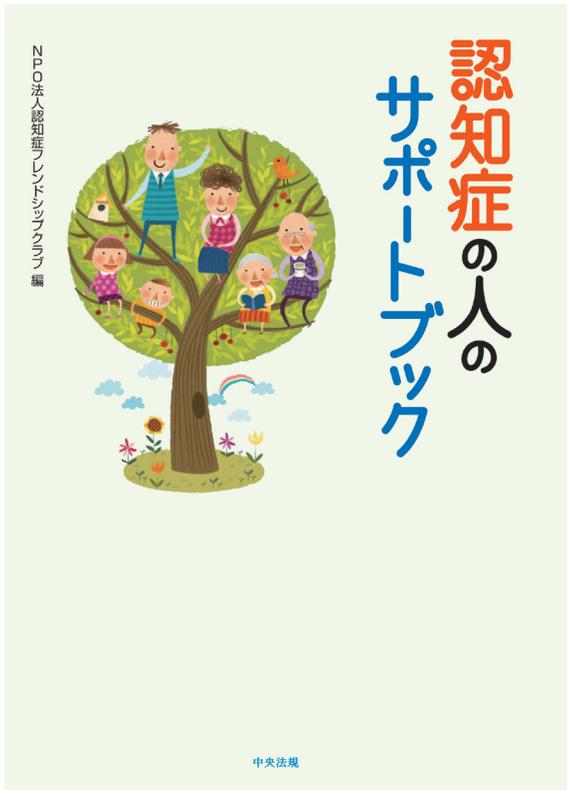


認知症の人のサポートブック



認知症の人が地域で暮らし続けることをサポートする人、必携です。

2011年
9月発売
予約受付中

【目次】

第1章 認知症の人の現在

100人中23人が高齢者？／4人に1人が認知症に？／高齢者1人を1.3人で支える？

第2章 認知症は脳の病気

認知症になると脳が変化する？／認知症はどんな症状？／認知症の診断と治療は？／認知症は予防できる？

第3章 心のバリアを下ろそう—私たちの心がまえ

人間の「存在する」意味って何だろう？／あなたは何がしたいですか？／バリアを張っていませんか？／やっと思いがちな行動とは？

第4章 認知症の人とのかかわり方を学ぼう

コミュニケーションとは？／コミュニケーションと記憶の関係は？／会話のきっかけは？／場面別認知症の人とのかかわり方

第5章 地域で認知症の人を支える町づくり

どれだけのサポーターがいれば安心できる？／町づくりとは？／町づくりのポイントは？／町づくりの先進事例／地域コミュニティの再生が町づくりの秘訣？

第6章 認知症の人を支える制度

介護保険制度／成年後見制度／日常生活自立支援事業／高齢者虐待防止法／認知症を知り地域をつくる10カ年／認知症対策等総合支援事業

NPO 法人認知症フレンドシップクラブ＝編

本体価格 1200円（税別）

A5判／横組／本文148頁

ISBN978-4-8058-3520-3

【本書の執筆者】

井出訓（放送大学教養学部教授）

松本一生（松本診療所ものわすれクリニック理事長）

田辺毅彦（北星学園大学文学部教授）

内ヶ島伸也（北海道医療大学看護福祉学部助教）

西村敏子（北海道認知症の人を支える家族の会事務局長）

宮崎直人（グループホームアウル代表）

大久保幸積（社会福祉法人幸清会理事長）

石川秀也（北海道医療大学看護福祉学部教授）

（執筆順）